

事業計画書

2022年1月1日から12月31日まで

公益社団法人日本プロサッカーリーグ

〔 目 次 〕

1 当法人に関する事項

- (1) 事業の計画
- (2) 損益の計画と財産の見通し
- (3) 主要な事業内容
- (4) 会員に関する事項
- (5) 職員に関する事項
- (6) 役員会等に関する事項
- (7) 対処すべき課題と重点施策(アクション)

2 役員等に関する事項

- (1) 理事
- (2) 監事
- (3) 特任理事

1 当法人に関する事項

(1) 事業の計画

(単位:百万円)

正味財産期末残高(事業別)		予算額
公益目的事業会計		△3,095
収益事業等会計	収益事業	35
	共益事業	753
小計		788
法人会計		5,612
合計		3,305

*百万円未満は四捨五入

〔公益目的事業〕

当法人は、リーグおよびスポーツ文化の発展を目指し、公衆送信権およびパートナーシップをリーグで一括管理し、公衆送信権の権料やパートナーシップから得られる協賛金を、一定のルールに基づきクラブに配分すると同時に、以下の活動を主体的に実施する。

① プロサッカーの試合の主催

J1リーグ戦 全 306 試合、J2リーグ戦 全 462 試合、J3リーグ 最大 342 試合、リーグカップ戦 71 試合、スーパーカップ 1 試合、天皇杯JFA第 102 回全日本サッカー選手権大会、J1 参入プレーオフ 最大 4 試合等の開催、その他理事会が指定した試合 ※試合数は 2021 年11月 8 日現在の見込み数

② 公式記録の作成・管理及び運用、公式試合・公式行事の記録や映像・静止画像の作成・収録・保管・管理及び販売ならびに選手肖像権等の管理

③ プロサッカーに関する諸規約の制定

④ プロサッカーの選手、監督および審判等の養成、資格認定および登録

⑤ プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定

⑥ 放送等を通じたプロサッカーに関する広報普及

⑦ サッカー及びサッカー技術の調査、研究及び指導

⑧ プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施

⑨ サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

⑩ サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助

⑪ プロサッカーの安定的な試合開催を目的とした、クラブの経営維持のための一時的な融資及び経営指導

⑫ サッカーをはじめとするスポーツに関する映像等の制作及び活用

⑬ その他目的を達成するために必要な事業(プロサッカーに関するパートナー・スポンサー及びサプライヤーとのリレーションシップ構築など)

〔収益事業等〕

① 収益事業(商品化事業)

サッカーをはじめとするスポーツに関する商品企画、製造及び販売

② 共益事業(表彰事業)

シーズン終了後、J. LEAGUE AWARDS を開催し、リーグ戦成績及びリーグカップ戦の成績に対する表彰を行う予定

(2) 損益の計画と財産の見通し

(単位:百万円)

	2018年度 自 2018年 1月1日 至 2018年 12月31日	2019年度 自 2019年 1月1日 至 2019年 12月31日	2020年度 自 2020年 1月1日 至 2020年 12月31日	2021年度 (見込額) 自 2021年 1月1日 至 2021年 12月31日	2022年度 (予算額) 自 2022年 1月1日 至 2022年 12月31日
当期経常増減額	141	△620	3,358	△680	△2,273
当期一般正味財産増減額	141	△620	3,358	△680	△2,273
当期指定正味財産増減額	△11	△1	5	0	0
正味財産期末残高	3,516	2,895	6,258	5,578	3,305

*百万円未満は四捨五入

(3) 主要な事業内容

事業	主要な事業の内容
公益目的事業	日本サッカーの水準の向上及びサッカーの普及を図ることにより、国民に対して豊かなスポーツ文化の振興と心身の健全な発達に寄与し、国際社会における交流及び親善に貢献する事業 (1)公式試合安定運営事業 (2)選手育成アカデミー事業 (3)人材育成事業 (4)百年構想事業(ホームタウン活動、社会貢献活動などの推進) (5)クラブライセンス事業(国際基準に基づくクラブライセンス制度の運用、等)
収益事業	商品化事業
共益事業	表彰事業

(4) 会員に関する事項

(2021年11月25日時点)

種類	前年度末	当年度末	増減
正会員	57名	58名	1
特別会員	1名	1名	-
賛助会員	0名	0名	-
名誉会員	4名	4名	-
合計	62名	63名	1

(5) 職員に関する事項

(2021年10月31日時点)

職員の数	127名	うち常勤	127名
------	------	------	------

(注) 理事兼務者を除き、他の機関・企業からの出向者、他の機関・企業への出向者、休職者を含む。

(注) 2022年1月1日の人事異動等によって変動する可能性あり。

(6) 役員会等に関する事項

① 理事会

原則として毎月1回開催予定。

② 総会

2022年3月、および12月に定時社員総会を開催予定。

(7) 対処すべき課題と重点施策(アクション)

(コロナ禍の取り組み)

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及などを背景に、同感染症の流行が今後収束に向かっていく可能性を念頭に置きながら、事業の存続を最優先に考えたサバイバルモードから2022年度は事業の成長と発展を視野に入れたリバイバルモードへの準備と対応を進める必要があると考えております。新しい生活様式や経済環境・社会全般の変化に順応し、新しいサッカー観戦スタイルを模索しながら、引き続き感染防止とプロスポーツ興行を両立すべく最善の方策を検討してまいります。

新型コロナウイルス感染症予防への主な対応

- ①一般社団法人日本野球機構(NPB)と共同で、感染症専門家からの情報、助言を基にした情勢判断や対策検討を目的に、新型コロナウイルス対策連絡会議を継続実施
- ③「Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」の運用
- ③感染拡大防止のための検査体制の企画・実施

クラブの経営リスクへの主な対応

- ①クラブライセンスの特例措置の適用継続(財務基準の猶予期間等)
- ②クラブの経営支援を目的とした、各種省庁との連携や助成・支援の依頼
- ③Jリーグ独自のクラブ支援メニューの運用

リーグの経営リスクへの主な対応

- ①従業員の感染リスク低減のための在宅勤務を中心とした働き方への移行と、新型コロナウイルス感染症の流行収束後も見据えたリモートワーク体制を推進

(財務)

当法人の2022年度予算は、経常収益31,945百万円(前年同期予算比4,764百万円増)、経常費用34,218百万円(前年同期予算比5,274百万円増)を計上しております。当期経常増減額は△2,273百万円(前年同期予算比510百万円減)となります。

なお、2021年度は、経常収益が28,387百万円(前年同期実績比1,430百万円減)となる見通しです。

(事業等のリスク)

Jリーグは、新型コロナウイルス感染症の流行によるJリーグの事業価値低下に備え、上記に掲げる各種対策・対応を継続しながらも、ビジョン2030の達成を目指し非連続の成長を実現するための施策の実施やコロナ禍収束後のアクションの準備を状況変化に対応しながら常に試行錯誤し、リーグの価値をコロナ禍以前よりも魅力あるものとするべく以下の通り進めて参ります。

- ①新型コロナウイルス対策の継続実施
- ②クラブの経営リスクに備えたサポートと緊急対策費予算の確保
- ③組織構造、事業構造の見直しの推進による経営効率化の実現

④中期計画 2022 及びビジョン 2030 の見直し(中期計画 2026 及びビジョン 2034 の策定)

⑤上記④に基づく各領域別の重点施策(各アクション)の推進継続

※参考:Jリーグの掲げる各領域別の目指す姿・KGI(ビジョン 2030「リブランニング」掲載内容)

社会連携: 想いを共有し、仲間の子カヲを借りて地域とクラブの繋がり&笑顔を増やす

フットボール: 日本型人材育成システムで世界の5大リーグに名を連ねる

toC: 熱狂のスタジアムと場所を選ばない視聴体験。国内最高のスポーツエンターテインメントへ

事業強化: 事業の選択肢を増やし、Jリーグの多様な価値をマネタイズする

経営基盤: 自律的な経営と人材育成で、地域に愛される存在となる

2022年1月1日(予定)より、(株)Jリーグへの業務委託・権利許諾、およびそれらから発生した外販事業などを(公社)Jリーグへ移管します。なお、(株)Jリーグに本籍を置く従業員は全員を(公社)Jリーグに転籍することとし、人的リソースの集約と財務的コストの削減、組織の効率化を図ってまいります。

また、上記のほか、ハラスメント問題への対応等に対するコンプライアンス体制の強化の継続、安全な試合運営に影響を及ぼす地震や暴風雨等の自然災害の発生に伴う運営上の対応や財務的リスクを緩和する「大規模災害時補填制度」の運用による備えなど、リーグ経営に支障をきたしうる様々なリスクに対しても引き続き対応策を継続してまいります。

Jリーグは、自らの発展のみならず、日本サッカー界全体の成長と日本におけるスポーツの価値を最大化できるように努めてまいります。地域の皆さまと、各クラブおよび日本サッカー協会、加えて、Jリーグの活動を日々支えていただいている自治体や関係団体の皆さまとともに、豊かな地域社会の実現に向かって歩んでいく所存です。また、環境省との2021年の連携協定締結を機に、地域の多様なステークホルダーの皆さまとともに、地域の活力を最大限引き出し、持続可能で魅力あふれる地域社会をつくることで、将来世代の未来をより良いものにするための様々な取組・活動を行ってまいります。

発足から8年目を迎えるスポーツ庁と経済産業省が推進する「スポーツの成長産業化」は、スポーツ産業の一端を担うJリーグにとっても引き続き非常に重要なテーマとなります。2021年の東京オリンピック・パラリンピック開催後のレガシーも踏まえ、サッカーのみならずスポーツ全体の価値を益々高めると共に、コロナ禍においてもスポーツが社会にもたらす価値と意義を高め、皆様が必要とされる存在として継続的に認知していただけるように、当法人も貢献してまいります。

2 役員等に関する事項

(1) 理事

(2022年1月1日時点(予定))

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	他法人等の代表状況等
理事長 (チェアマン)	村井 満	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	常勤	(公財)日本サッカー協会 副会長
副理事長	原 博実	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	常勤	(公財)日本サッカー協会 常務理事
専務理事	木村 正明	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	常勤	なし
理事	窪田 慎二	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	常勤	なし
理事	佐伯 夕利子	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	常勤	なし
理事	野々村 芳和	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	(株)北海道フットボールクラブ 代表取締役社長
理事	沼田 邦郎	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	(株)フットボールクラブ水戸ホーリーホック 取締役
理事	大金 直樹	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	東京フットボールクラブ(株) 代表取締役社長
理事	下川 浩之	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	(株)ゼルビア 取締役会長
理事	藁科 義弘	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	(株)川崎フロンターレ 代表取締役社長
理事	塚野 真樹	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	(株)SC 鳥取 代表取締役
理事	榎 徹	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	(株)大分フットボールクラブ 代表取締役
理事	立石 敬之	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	STVV NV CEO(取締役社長)
理事	為末 大	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	DEPORTARE PARTNERS 代表
理事	藤沢 久美	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
理事	藤沢 烈	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	一般社団法人 RCF 代表理事 特定非営利活動法人新公益連盟 理事・事務局長
理事	馬場 涉	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	パナソニック株式会社 参与 コーポレートイノベーション担当
理事	須原 清貴	自: 2020年4月14日 至: 2022年3月15日	非常勤	(公財)日本サッカー協会 専務理事
理事	反町 康治	自: 2020年4月14日 至: 2022年3月15日	非常勤	(公財)日本サッカー協会 理事・技術委員会委員長
理事	黛 俊行	自: 2020年4月14日 至: 2022年3月15日	非常勤	(公財)日本サッカー協会 理事・審判委員会委員長

(2) 監事

(2022年1月1日時点(予定))

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	他法人等の代表状況等
監事	大塚 則子	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	大塚則子公認会計士事務所 代表
監事	山崎 忠史	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	(株)PROPERTY INNOVATION CONSULTING 代表取締役

(3) 特任理事

(2022年1月1日時点(予定))

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	他法人等の代表状況等
特任理事	小西 孝生	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	株式会社Jリーグ 取締役 執行役員
特任理事	外山 晋吾	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	株式会社ビーネックステクノロジーズ 執行役員 欧州事業担当
特任理事	秦 英之	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	ONE CHAMPIONSHIP 株式会社 代表取締役社長
特任理事	播戸 竜二	自: 2020年3月12日 至: 2022年3月15日	非常勤	株式会社MR12 代表取締役
特任理事	夫馬 賢治	自: 2021年2月25日 至: 2022年3月15日	非常勤	株式会社ニューラル 代表取締役CEO